

“やさしい日本語”で多文化共生
多文化くらぶ江戸川

設立：2015年9月
 会員数：8名



活動地区：江戸川区全域

活動日：毎月第4月曜日（定例会）

活動場所：篠崎コミュニティホール ほか

会員条件：多文化共生・国際交流に関心のある方

会費：必要時徴収

入会方法：代表者に連絡

江戸川区には約3万5千人の外国人が在住しています。多文化くらぶ江戸川では毎年増加する外国人が安心して地域で生活できる環境づくりを目指して活動しています。

代表の川瀬 隆弘さんは江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科4期生で在学中に多文化共生について学んだことから卒業生の有志で2015年9月「行政と協働を考える会」を発足。2017年1月からは団体名を変更し「多文化くらぶ江戸川」として活動しています。

多文化共生の実現のためにボランティアだけではなく、行政の力も不可欠であると行政との面談を定期的に実施。また、江戸川区が提言する基本計画「えどがわ10年プラン」についても検討し、より具体的な行政サービスについても提案してきました。

同会は外国人でも理解しやすい「やさしい日本語」を推進しており、イベントでのPRのほかやさしい日本語講座を開催するなどの活動もしています。やさしい日本語とは外国人にわかりやすくリライト（書き換え）した日本語のことで、漢字やひらがなが混じった日本語ではわかりにくいいため、ルビを振ったり文章を短くしたりします。

イベントでは生活情報にルビを振った日本語で掲載し、日常会話も交えて外国人の悩みを聞き活動を広げ、外国人にとっても、やさしく住みやすい地域を目指します。

活動の様子

（定例会の様子）

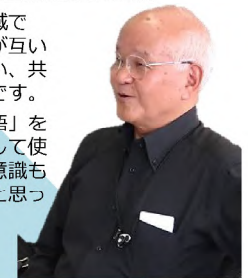


毎月開催する定例会では多文化共生に関する情報の共有やそれぞれの活動報告、今後の活動方針などを話し合います。

代表・川瀬 隆弘さんの話

多文化共生は地域で外国人と日本人が互いの違いを認め合い、共に生きていく事です。

「やさしい日本語」を地域の共通語として使用し、日本人の意識も変えていかねばと思っています。



やさしい日本語とは

日本で生活している外国の方々が、理解できるように、「易しく」「優しい気持ち」で書き換えた日本語のことです。



えどがわ〜るどフェスティバルや小岩フラワーまつりなどのイベントに参加し、やさしい日本語の紹介や外国人の必要な情報の発信をしています。



えどがわ〜るどフェスティバル



連絡先：川瀬 隆弘 【電話】 090-2476-2414

【E-mail】 taka.kawase@nifty.com